



ウマにおける情動表出・認知に関する実験研究

瀧本 彩加 氏

北海道大学 文学部 行動システム科学講座 准教授

他者の情動シグナルを認知し、それに基づいて適切に反応することは、生物学的にも社会的にも適応的である。ウマは群居性の動物であるとともに、家畜化されて以降は5500年以上にわたりヒトとともに暮らしてきた。よって、彼らは情動表出し、同種他個体だけでなくヒトの情動シグナルをも認知し、社会的絆を築いてきたと考えられる。本セミナーでは、ウマにおける情動表出や同種他個体・ヒトの情動認知に関する実験研究を紹介する。また時間があれば、当研究室で取り組んでいる他のテーマに関する最新の研究成果もお話したい。

日時：2017年9月15日（金）

場所：大阪大学人間科学部北館2Fラーニング「 commons」

時間：14:00 – 15:30

事前の申込みは不要、誰でも参加できます